

# 中央大学文学部

## 2018年度 特別公開講座

**2018年7月14日(土) 多摩キャンパス3号館 [文学部棟]**

～ 参加者の皆様へ ～

- ・ 特別公開講座は途中の入退室が可能です。各自のスケジュールに合わせて、興味のある講義にご参加ください。
- ・ 昼食時間は特に設けておりません。昼食は好きな時間帯にお取りください。昼食は持参いただいても本学学生食堂をご利用いただいてもどちらでも大丈夫です。なお、2時限目と3時限目の間は55分の休憩を設けています。
- ・ 全体説明および各時限にアンケートを配布しますので、講義の感想、ご意見などをお寄せください。
- ・ 12時10分から12時55分まで、「昼どき文学部～スチューデント・ラウンジ～」を開催します。在学生による各専攻の紹介もあります。先輩学生から見た文学部、専攻の良さなどを聞くチャンスです。昼食をとりながら参加することもできます。
- ・ 13専攻の共同研究室では、1日限りの「共同研究室ツアー」を実施します。この機会に文学部生の憩いの場を体感してみてください。
- ・ 高校の先生方の休憩室として3160教室、保護者の方の休憩室として3154教室を用意しております。ご自由にご利用ください。

### INFORMATION



トイレは各階廊下のつきあたりにあります。



分からないことはネームホルダー着用のスタッフにお尋ねください。



気分が悪くなった方は、保健センターでお休みいただけます。

# タイムテーブル

全体説明会					
時間・対象		内容			会場
9:40~10:10 (対象:中大附属4高校参加者)		【全体説明】人数の都合上、2つの会場で行いますが、内容は同じです。 特別公開講座資料配布・在学生による文学部紹介			3114(附属・杉並) 3115(中大高・横浜)
9:40~10:10 (対象:その他高校参加者)		【全体説明】特別公開講座資料配布・文学部紹介・在学生による文学部紹介			3353
模擬授業					共同研究室ツアー
時間・時限	専攻名	講義タイトル	講師名	会場	<p>※10時30分～14時30分まで、各専攻の共同研究室のツアーがあります。集合場所は各専攻の研究室となります。</p> <p>ツアー概要は本冊子の最後のページをご覧ください。</p>
1時限目 10:25 } 11:10	国文学	人間はなぜフィクションに惹かれるのか —小説・映画に描かれた<非現実>—	宇佐美 毅	3115	
	西洋史学	楔形文字を学んでみよう!	唐橋 文	3354	
	哲学	哲学とは何か?	中村 昇	3114	
2時限目 11:20 } 12:05	ドイツ語文学文化	ドイツ美術の名作をたどる —石器時代からドイツ・ルネサンスまで—	Hans Joachim Dethlefs ※逐次通訳あり	3351	
	心理学	心理学とはどういう学問か? 勉強のやり方を学ぼう!	兵藤 宗吉	3115	
	【講演】	文学部生のキャリア設計(保護者対象)	キャリアセンター	3114	
12:10 } 12:55	昼どき文学部 スチューデント・ラウンジ partA	国文学/英語文学文化/ドイツ語文学文化/ フランス語文学文化(語学文学文化コース、美術史美術館コース)/中国言語文化/日本史学/東洋史学	大田 美和	3353	
	昼どき文学部 スチューデント・ラウンジ partB	西洋史学/哲学/社会学/ 社会情報学(情報コミュニケーションコース、図書館情報学コース)/教育学/心理学	山科 満	3354	
3時限目 13:00 } 13:45	中国言語文化	中国のSFは北京を折りたたむ	榎本 泰子	3351	
	社会情報学	マスコミの世論調査はどのくらい信用できるのか?	宮野 勝	3115	
4時限目 14:00 } 14:45	英語文学文化	ウォルトの夢のゆくえ ～ディズニーランドの誕生と発展～	中尾 秀博	3114	
	東洋史学	アンコール・ワットの「発見」と近代カンボジア	高橋 宏明	3158	
	教育学	学校と子ども・若者の支援	古賀 正義	3552	
5時限目 15:00 } 15:45	フランス語文学文化	外国語学習と文芸鑑賞	加藤 京二郎	3351	
	日本史学	史料のチカラ —近代日本の災害記録	宮間 純一	3353	
	社会学	矢野ゼミ学生による公開ディベート	矢野 善郎	3114	

文学部には、学問の世界へと通じる 13 の扉があります。

この特別公開講座では、出席した皆さんのためにこれらの扉を特別に開け放ちます。

ご案内役は、各専攻から選ばれた極上のガイドが務めます。

どうぞお好みのドアからお入りください。



## 講義一覧

### 人間はなぜフィクションに惹かれるのか

—小説・映画に描かれた〈非現実〉—

国文学専攻 教授 宇佐美 毅

小説を読んだり映画を見たりしても、目に見える「得」はありません。それでも、人間は何千年も前から神話や演劇などフィクション性のある世界を大切にしてきました。それは単なる娯楽や現実逃避なのでしょうか。村上春樹の小説、宮崎駿の映画、新海誠『君の名は』など、複数の現代フィクション作品を考えていくことで、フィクションでなければ得られない人間にとっての意義を考察します。

#### ■講師プロフィール

村上春樹を中心とした日本現代文学研究者。近年は、映画・テレビドラマ・アニメなどを総合的に考察する現代文化論へと研究範囲を広げている。

#### ■お薦めの3冊

安藤宏『「私」をつくる近代小説の試み』岩波新書、2015年。

石原千秋『謎とき村上春樹』光文社新書、2007年。

宇佐美毅『テレビドラマを学問する』（中央大学出版部）、2012年。

## 楔形文字を学んでみよう！

西洋史学専攻 教授 唐橋 文

楔形文字で記された文書の中には、神々や英雄をめぐる物語があるかと思うと、数字が並んだ会計簿のようなものもあります。また、子供達を書き残した練習帳のようなものもあります。それらの文書をもとに、人類最古の文字の一つとされる楔形文字とはどのようなものか、また、それは、どのように用いられたのかを概観し、授業の終わりに自分の名前を楔形文字で書いてみます。

### ■講師プロフィール

楔形文字で記されたシュメール語のいろいろな文書を読むことを仕事としています。

### ■お薦めの3冊

イージー・ヴァイル『星のある生活』恒文社、1978年。

マルセ・ルドゥレーダ『ダイヤモンド広場』晶文社、1974年。

J.R. ヒメーネス『プラテローとわたし』岩波文庫、2001年。

## 哲学とは何か？

哲学専攻 教授 中村 昇

幼稚園の頃からずっと疑問だったこと（死んだらどうなるのか？生きている意味はあるのか？）を考え続けていたら、今のような変な大人になりました。まだまだよくわかりません。こんな情ない哲学病人の話聞いてください。

### ■講師プロフィール

ことばや時間の謎について、ずっと考えつづけています。

### ■お薦めの3冊

永井均『<子ども>のための哲学』講談社現代新書、1996年。

ヘッセ『ガラス玉演戯（上）（下）』（新潮文庫）、2016年。

色川武大『うらおもて人生録』新潮文庫、1987年。

## ドイツ美術の名作をたどる

—石器時代からドイツ・ルネサンスまで—

ドイツ語文学文化専攻 教授 Hans Joachim Dethlefs

※逐次通訳あり

美術史をたどる小旅行に出てみませんか。4万年前の旧石器時代の工芸品に始まる旅です。ゲルマン人の大移動の時代に立ち寄った後は、アーヘンのカール大帝の王宮（ラヴェンナのサン・ヴィターレ聖堂のモデル）です。そこから中世の大聖堂（ウォルムスほか）を見学したら、最後に目指すはコルマル！ここでは、ドイツ・ルネサンスの傑作「イーゼンハイムの祭壇画」を見ることにしましょう。

（授業はドイツ語で行われますが、日本語への逐次通訳がつきます。美術が好きな方も、ドイツ語を聞いてみたい方もぜひどうぞ！）

### ■講師プロフィール

専門はドイツとヨーロッパの近世美術史です。16世紀のルネサンスからフランス革命あたりまでの時期を扱っています。

### ■お薦めの3冊

A. デューラー（絵）、千足伸行（解説）『デューラー』新潮美術文庫6、新潮社、1975年。

P. クレー（絵）、谷川俊太郎（詩）『クレーの絵本』講談社、1995年。

E. H. ゴンブリッチ『美術の物語』天野衛ほか訳、ファイドン、2007年。

【原書：E.H. Gombrich, The story of art, 16th ed., Phaidon Press, 1995.】

心理学とはどういう学問か？ 勉強のやり方を学ぼう！

心理学専攻 教授 兵藤 宗吉

心とは何か？

心理学とはどういう学問か？

勉強のやり方を学ぼう！

### ■講師プロフィール

認知心理学、記憶を研究

### ■お薦めの3冊

下条信輔『サブリミナル・マインド—潜在的人間観のゆくえ』中央公論社、1996年。

杉山登志郎『発達障害のいま』講談社、2011年。

西垣通『こころの情報学』筑摩書房、1999年。

## 中国のSFは北京を折りたたむ

中国言語文化専攻 教授 榎本 泰子

昨年12月に文学部で開催したシンポジウム「SFから見るアジアの未来」では、「折りたたみ北京」の作者郝景芳（かく・けいほう、Hao Jingfang）さんをお招きしました。その時の対話を元に、①なぜ北京は折りたたまれるのか、②折りたたまれた街で人間はどうなるか、③中国のSF（サイエンス・フィクション）は「虚構」なのか、について考えます。この講義を聴いた人は、現代中国の闇と光を同時に感じることでしょう。

### ■講師プロフィール

近現代の中国文化を研究しています。歴史を勉強して未来を考えるのが好きです。

### ■お薦めの3冊

ケン・リュウ編『折りたたみ北京：現代中国SFアンソロジー』中原尚哉ほか訳、早川書房、2018年。

ケン・リュウ著『紙の動物園』古沢嘉通編・訳、早川書房、2017年。

榎本泰子編『アジアと生きる アジアで生きる：中央大学文学部プロジェクト科目講義録』樹花舎、2018年。

## マスコミの世論調査はどのくらい信用できるのか？

社会情報学専攻 教授 宮野 勝

新聞社など大手のマスコミは、しばしば世論調査を実施する。内閣支持率や政党支持率が毎月のように発表され、国政選挙の投票日の1~2週間前には情勢調査があり、投票結果の予測が新聞の一面をにぎわせる。

これらは、どのくらい信用できるのだろうか。マスコミによって結果は著しく異なるのだろうか。信頼に足る科学的な方法が使われているのだろうか。情報があふれる時代に、我々は何をどのくらい信用してよいのかについて考える。

### ■講師プロフィール

中央大学・文学部・教授

### ■お薦めの3冊

堤未果『社会の真実の見つけかた』岩波書店、2011年。

伊藤公一朗『データ分析の力：因果関係に迫る思考法』光文社、2017年。

サンデル『これからの「正義」の話しよう』早川書房、2011年。

## ウォルトの夢のゆくえ

### ～ディズニーランドの誕生と発展～

英語文学文化専攻 教授 中尾 秀博

この講義では次の疑問の答えを探ってみます。

1. ウォルト・ディズニーはディズニーランドで何を実現しようとしていたのか？
2. 何をヒントにしていたのか？
3. ディズニーランドの出現は何を生み出したか？

#### ■講師プロフィール

【専門分野】 地域研究／環太平洋文学・文化／ポップ・カルチャー

【研究テーマ】 ポスト・コロニアルとナショナリズム／先住民の映像表象

【論文・著書・口頭発表】 については以下のサイトを参照

<http://ir.c.chuo-u.ac.jp/researcher/profile/00016887.html>

#### ■お薦めの3冊

能登路雅子『ディズニーランドという聖地』岩波書店、1990年。

海野弘『万国博覧会の二十世紀』平凡社、2013年。

ボブ・トマス『ウォルト・ディズニー 創造と冒険の生涯』玉置悦子、能登路雅子訳、講談社、1983年。

## アンコール・ワットの「発見」と近代カンボジア

東洋史学専攻 教授 高橋 宏明

世界遺産として有名なカンボジアのアンコール・ワット遺跡。今から約150年前にフランスの博物学者アンリ・ムーオによって密林の中から「発見」されました。以後、フランス人研究者によってアンコール遺跡の調査研究と保存修復活動が続けられてきました。1970年代から1990年代初頭の内戦を経て、現在は、国際的な支援を受けつつも、カンボジア人自身の手によって遺跡保存修復が進められています。こうした遺跡をめぐる歴史を振り返り、その特徴を示します。

#### ■講師プロフィール

専門は東南アジア史、特にカンボジア近現代史、および世界遺産研究、国際文化協力

#### ■お薦めの3冊

阿部謹也『自分のなかに歴史を読む』ちくま文庫、2007年。

石澤良昭『アンコール・ワット』講談社現代新書、1996年。

大石芳野『女の国になったカンボジア』講談社文庫、1984年。

## 学校と子ども・若者の支援

教育学専攻 教授 古賀 正義

貧困格差社会の拡大に伴って、家庭の問題や孤立の困難などを有する子ども・若者が目立ってきた。そのため、学校という場を通して、学習の支援をしたり教育の相談にのるなどの試みがひろがっている。東京都で行った調査の事例を通して、いま必要な子ども・若者への援助のあり方を考える。

### ■講師プロフィール

筑波大学教育学研究科修了。宮城教育大学准教授を経て、現職。  
特技は柔道（二段）。

### ■お薦めの3冊

日本教育社会学会編『教育社会学のフロンティア2：変容する社会と教育のゆくえ』岩波書店、2018年。  
古賀正義、石川良子『ひきこもりと家族の社会学』世界思想社、2018年。  
好井裕明『排除と差別の社会学』有斐閣、2016年。

## 外国語学習と文芸鑑賞

フランス語文学文化専攻 教授 加藤 京二郎

フランス語を習得してフランス語で詩を読むとき、わたしたちはどこまで＜フランスなるもの＞を感知し、どのくらい＜内なる日本人＞の感性を働かせているのでしょうか。実際にフランス語の詩を原文と翻訳で読み比べながら、外国語の詩を鑑賞する妙味にちょっとだけ触れてみましょう。

### ■講師プロフィール

フランス文学専攻。19世紀近代詩の古くて新しいところがとても気に入っています。

### ■お薦めの3冊

堀口大輔『月下の一群』新潮社、1955年。  
萩原葉子『天上の花』講談社、1996年。  
三好達治『詩を読む人のために』岩波書店、1991年。

## 史料のチカラ

### —近代日本の災害記録

日本史学専攻 准教授 宮間 純一

過去に起きた出来事を再構成するのに欠かせないのが史料（文字記録や写真資料など）です。本講義では、明治以降に日本列島で発生した大規模災害の記録をひもときます。歴史研究者は、先人たちが作成し、のこした記録をもちいて災害史を検証してきました。そうした資料を読み解くとともに、最近わたしたちが経験した災害は、未来へどのように伝えられようとしているのか、紹介したいと思います。

#### ■講師プロフィール

1982年千葉県生まれ。専攻は日本近代史。著書に『戊辰内乱期の社会—佐幕と勤王のあいだ—』（思文閣出版、2015年）、『国葬の成立—明治国家と「功臣」の死—』（勉誠出版、2015年）。

#### ■お薦めの3冊

大久保利謙『日本近代史学事始め』岩波新書、1996年。

歴史学研究会編『歴史学と、出会う—41人の読書経験から—』青木書店、2015年。

大門正克『「生存」の東北史—歴史から問う3・11—』大月書店、2013年。

## 矢野ゼミ学生による公開ディベート

社会学専攻 教授 矢野 善郎

文学部には様々なゼミがありますが、わが矢野ゼミでは伝統の一つが「公開ディベート」です。実際の社会に出るとディベートの能力が欠かせませんが、なかなか日本の教育制度では身につけるがないので、ゼミで練習することになっています。今回は、現役ゼミ生の有志四人がこの場を借りてディベートを練習させていただきます。高校生の皆さんに、大学生や大学のゼミってこんな感じだよと、背伸びせず、ありのままをお見せできればと考えています（学生が緊張したりしていても広い心で受け取ってください！）。途中で皆さんからの質問時間もありますので、是非ゼミ生になったつもりで、参加してください！

#### ■講師プロフィール

理論社会学・社会学史が専門の社会学者。日本におけるディベート教育普及にも関わる（全国高校生英語ディベート大会審査委員長）

#### ■お薦めの3冊

デュルケム『自殺論』中央公論社、1985年。

ウェーバー『職業としての学問』岩波書店、1980年。

偉大な社会学者たちの言葉は重く、深いです

なお現代社会学の見取り図としては、

友枝敏雄他編『社会学の力：最重要概念・命題集』有斐閣、2017年。

（矢野もちょっと書いています）



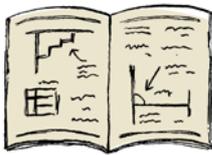
## 『昼どき文学部』の楽しみかた

『昼どき文学部 ～スチューデント・ラウンジ～』が開かれている間、教室はラウンジになります。全専攻の(皆さんの先輩になるかもしれない)文学部生が登場して、個性豊かに専攻案内を行います。お弁当を開きながら、冷たい飲み物で乾いたのどを潤しながら、気軽に聞いてください。そしてわからないことは、どんどん質問してください。そんな自由さが、文学部の雰囲気なのです。

## 旅に出よう。…文学部は応援します



緑豊かな多摩キャンパスだけが文学部のフィールドではありません。東京も、地方も、そして全世界が、学びのためのフィールドです。文学部には長期・短期のさまざまな留学制度、多数の交換留学先があるほか、フィールドワークやボランティア活動を応援する奨学金も用意しています。



## 学びの場、学びのチャンス

### ▶ 13専攻の共同研究室…学問、そして仲間との出会いの場

文学部の13専攻には、それぞれ「共同研究室」があります。ここでは資料や文献を読む、レポートを書く、読書会を開くなど、さまざまな学修が展開されています。本日は14時30分まで開室して、皆さんの見学をお待ちしています。大学ならではの書物や機材に触れてみてください。教室以上に大学の雰囲気を味わえますよ。

### ▶ 使い倒そう！国立美術館・博物館キャンパスメンバーズ

文学部生は、東京の国立美術館(国立西洋美術館、国立近代美術館、国立新美術館)と東京国立博物館に優待入館できます。使い方は簡単。学生証を見せるだけで常設展は無料！特別展も会期いっぱい割引が適用され、いずれも使用回数は無制限です。古今東西の名作、教科書で見たあの現物が、あなたを待っています

# 共同研究室ツアー

～リアルな専攻の雰囲気を感じてみよう！～

このツアーでは、ふだん文学部生が資料収集・ディスカッション等の学びに活用している各専攻の「共同研究室」へご案内します。

「研究室ってどんなところかな…?」「〇〇専攻に興味があるけれど、雰囲気ってどんな感じ…?」と思っているそのアナタ!! 共同研究室ツアーに参加して、リアルな専攻の魅力に触れてみませんか? 本日だけの特別メニューもご用意しています。

専攻	時間・集合場所	メニュー
国文学	①11:20-11:50 ②13:20-13:50 3号館7階 3702	ようこそ「寺子屋こくぶん」へ。 読み書き、そろばん、ものづくり…地口遊びに判じ絵、和算。 昔の子どもの遊びを通して、国文学の世界をのぞいてみましょう。
英語文学文化	①11:00-11:30 ②13:00-13:30 3号館5階 3535	中学校からずっと英語を学んできたはず…。でも大学では、一味違う英語を通じた「学び」ができます。あなたは英語を使って何をしたいですか? 経験豊かな先生、院生、学部生が、お茶を用意して皆さんとお話することを楽しみにお待ちしております!
ドイツ語文学文化	10:30-14:30 3号館5階 3503	自由に見学いただけます。また、随時在学生及び教職員が質問に応じたり、お話をいたします。例えばこんなお話です。 ・本専攻で取得できるドイツ語の資格 ・本専攻の学生たちの留学方法 ・本専攻のクリスマスパーティーや課外授業
フランス語文学文化	12:30-13:30 3号館5階 3523	《フツブン サロン・ド・テ Futsibun Salon de Thé》 夏の1日、フランスのお菓子と飲み物でひと息入れながら、在学生2名と話してみませんか。持参のお弁当をココで食べるのもあります。 専攻で学べる内容のほか、日々のキャンパス・ライフについていろいろ聞いてみてください。 専攻の普段の様子を写したスライドショーも上映しますよ。
中国言語文化	10:30-14:30 3号館5階 3513	中国のパズルやトランプ、将棋で遊んだことはありますか?簡単に遊べるものから、ちょっと頭を使うものまで各種取り揃え、みなさんをお待ちしています。専攻の先輩が相手をしてくれますので、1人で来ても遊べます。もちろんグループでもOK!
日本史学	①13:00-13:30 ②14:00-14:30 3号館7階 3713	日本史研究は、昔の人が書いた文書や遺跡から出土した土器などに直接触れる学問です。研究室でその一端にふれて下さい。なお、一回目は考古資料の見方を、二回目は古文書の読み方を中心に説明します。

# 共同研究室ツアー

～リアルな専攻の雰囲気を感じてみよう！～

専攻	時間・集合場所	メニュー
東洋史学	10:30-14:30 3号館7階 3735	ふだなじみのないアラビア文字で自分の名前を書いてみませんか？アラビア語ってどんな言葉？そう思ったらぜひ！またトルココーヒーは日本で飲むコーヒーとは全く違う濃厚さ。はるか中東の雰囲気を香りとともに味わってみてください。
西洋史学	13:30-14:30 3号館7階 3723	大学の西洋史の勉強はどんなものでしょうか！ 勉強や学生生活、サークル活動などについても、先輩に話を聞いてみましょう。今年の先輩は海外で大活躍している人です。気軽に研究室をたずねてみてください。
哲学	10:30-14:30 3号館9階 3922	「哲学カフェ」で、お菓子をつまみながら、のんびりフリートーク。哲学ってなんだろう。なんだかむずかしそう？ いやいや、肩ひじはらず、そんなに構えずにお話ししてみましょう。
社会学	①13:00-13:30 ②14:00-14:30 3号館9階 3902	社会学は変幻自在な学問です。「何でもアリ」の社会学の魅力と面白さについて、ざっくばらんにお話をします。きっと世界が鮮やかに見えてきますよ。
社会情報学	①10:45-11:30 ②14:00-14:30 3号館4階 3421	クイズ「資料探し・データ探し」に挑戦してみましょう。情報を正しく見つけ出すスキルを上げると、大学でも社会でも役立ちますよ。また、教員お薦めのDVDや資料も閲覧できます。
教育学	11:00-12:00 13:00-14:00 3号館9階 3932	教育学について何でも質問にお答えします。気軽におこし下さい。 自分の中にある「偏見」に気づく簡単なゲーム(?)も用意しています。
心理学	10:30-14:30 3号館9階 3909	簡単な心理学の実験を体験してみましょう！ 「人ってすごい」って思えるかもしれません。 (錯視の実験、逆さめがね体験、心理検査の図版紹介 etc)

※上記のツアー実施時間以外も10:30～14:30の間は研究室を開放しておりますので、自由にご見学ください。

※当日の実施時間は14:30終了を目途としていますが模擬授業の時間帯、来場状況により、開室時間を延長するケースもあります。また、内容に変更がある場合もございますので、あらかじめご了承ください。

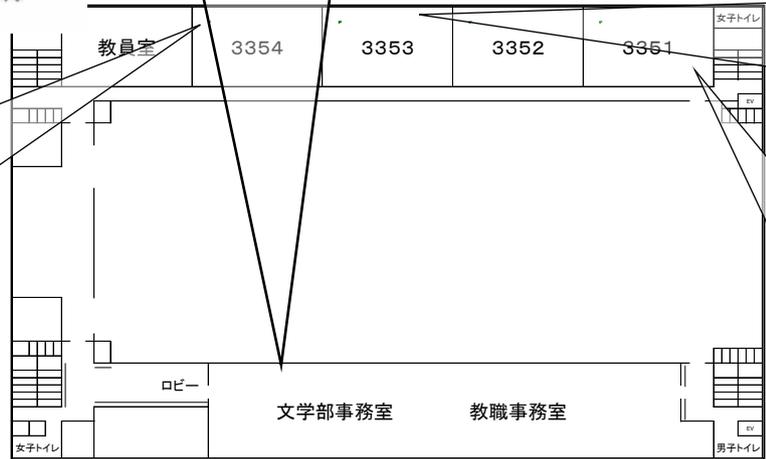
# 教室案内図

高層棟は9階建て、中層棟は5階建てです。  
各専攻の共同研究室は、高層棟の4・5・7・9階にあります。

<教室番号の見かた>

<例> 3 1 01  
最後の2桁は教室番号を示す。  
次の桁は階数を示す。  
最初の1桁は号館を示す。

**Information (文学部事務室)**  
何か困ったことがあればこちらへどうぞ

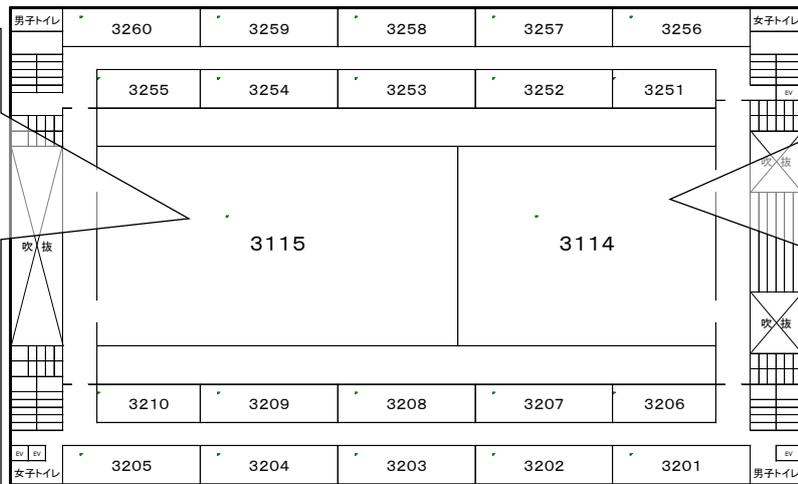


○3354 教室  
**10:25~11:10**  
楔形文字を学んでみよう！(西洋史学)  
**12:10~12:55**  
昼どき文学部 PartB

○3353 教室  
**9:40~10:10**  
【近隣校向け】朝の全体説明  
**12:10~12:55**  
昼どき文学部 PartA  
**15:00~15:45**  
史料のチカラ (日本史学)

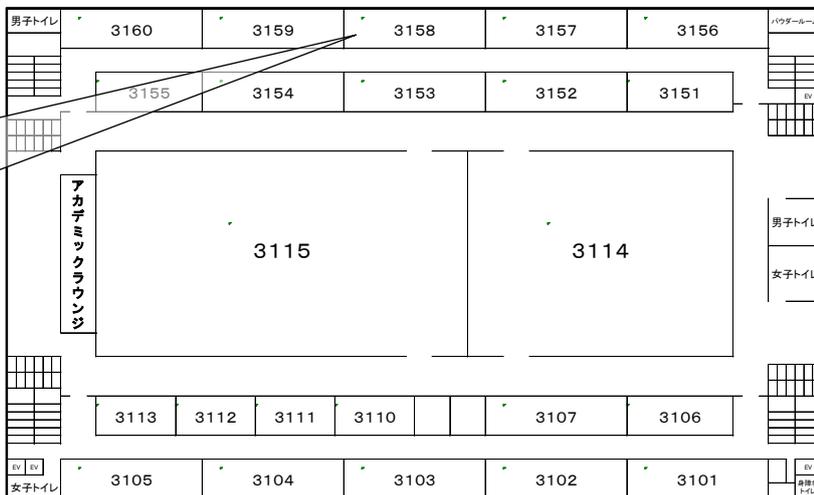
○3351 教室  
**11:20~12:05**  
ドイツ美術の名作をたどる  
(ドイツ語文学文化)  
**13:00~13:45**  
中国の SF は北京を折りたたむ  
(中国言語文化)  
**15:00~15:45**  
外国語学習と文芸鑑賞 (フランス語文学文化)

○3115 教室  
**9:40~10:10**  
【附属校向け】朝の全体説明  
**10:25~11:10**  
人間はなぜフィクションに惹かれるのか (国文学)  
**11:20~12:05**  
心理学とはどういう学問か？勉強のやり方を学ぼう！(心理学)  
**13:00~13:45**  
マスコミの世論調査はどのくらい信用できるのか？(社会情報学)

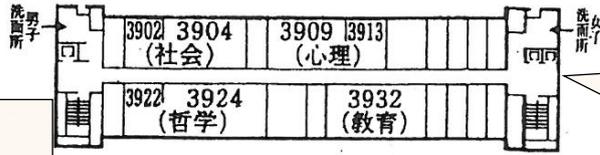


○3114 教室  
**9:40~10:10**  
【附属校向け】朝の全体説明  
**10:25~11:10**  
哲学とは何か？(哲学)  
**11:20~12:05**  
文学部生のキャリア設計 (キャリアセンター)  
**14:00~14:45**  
ウォルトの夢のゆくえ (英語文学文化)  
**15:00~15:45**  
矢野ゼミ学生による公開イベント (社会学)

○3158 教室  
**14:00~14:45**  
アンコール・ワットの「発見」と近代カンボジア (東洋史学)



3号館9階



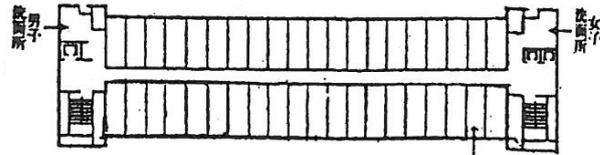
共同研究室ツアー (9階)  
 哲学(3922) 10:30~14:30  
 社会学(3902) ①13:00 ②14:00  
 教育学(3932) ①11:00 ②13:00  
 心理学(3909) 10:30~14:30

3号館7階



共同研究室ツアー (7階)  
 国文学(3702) ①11:20 ②13:20  
 日本史学(3713) ①13:00 ②14:00  
 東洋史学(3735) 10:30~14:30  
 西洋史学(3723) 10:30~14:30

3号館6階



高層棟

3号館5階



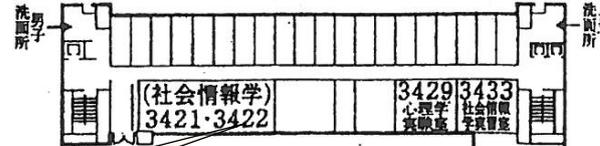
共同研究室ツアー (5階)  
 英語文学文化(3535) ①11:00 ②13:00  
 ドイツ語文学文化(3503) 10:30~14:30  
 フランス語文学文化(3523) ①12:30  
 中国言語文化(3513) 10:30~14:30

中層棟

モノレール駅側

○3552 教室  
 14:00~14:45  
 学校と子ども・若者の支援 (教育)

3号館4階



共同研究室ツアー (4階)  
 社会情報学(3421) ①10:45 ②14:00

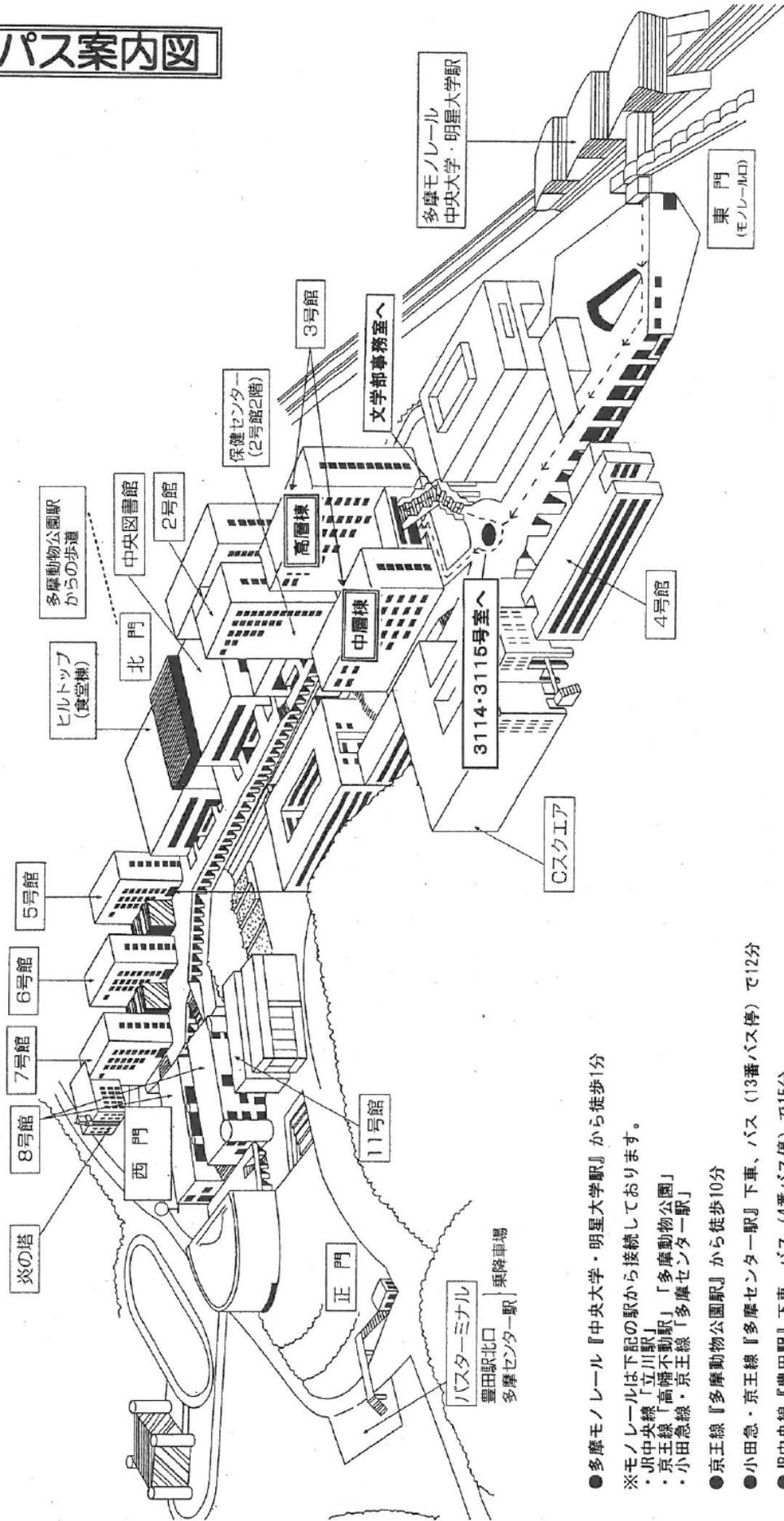
中層棟

第2パソコン教室

第1パソコン教室



# キャンパス案内図



● 多摩モノレール『中央大学・明星大学駅』から徒歩1分

※モノレールは下記の駅から接続しております。

- ・JR中央線「立川駅」
- ・京王線「高幡不動駅」「多摩動物公園」
- ・小田急線・京王線「多摩センター駅」

● 京王線『多摩動物公園駅』から徒歩10分

● 小田急・京王線『多摩センター駅』下車、バス（13番バス停）で12分

● JR中央線『豊田駅』下車、バス（4番バス停）で15分

~ Memo ~

